

いこいこツギユ

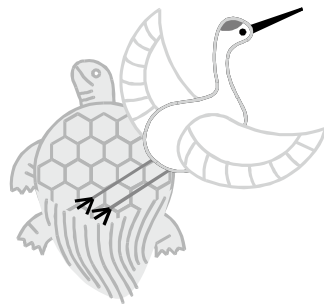
第60号

令和2年10月
発行: 依田窪老人保健施設
広報編集委員会
〒386-0603
小県郡長和町古町 3365-5
TEL: 0268-68-0281
FAX: 0268-68-0283

祝

敬老会

いつまでもお元気で



9月17日、いこいこ敬老会を行いました。今年、祝いを迎えられた9名の皆



石橋施設長より慶祝状の贈呈がありました

様に、石橋施設長より慶祝状が贈られ、笑顔で受けとられる方や、「次の祝い年も元気で祝ってもらいたい。」とお話されている方もいらっしゃいました。

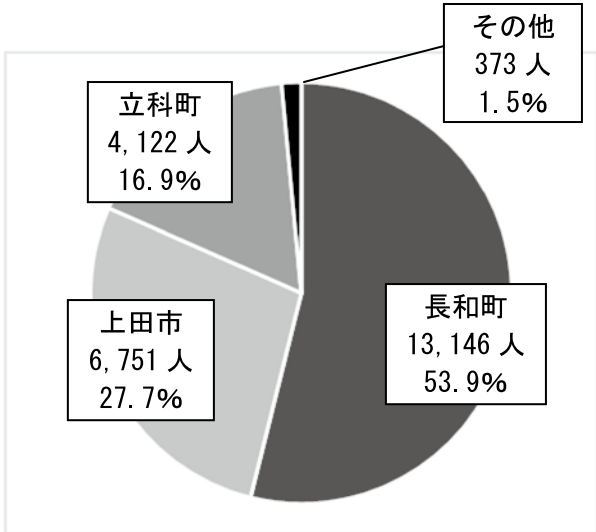
お昼には、秋鮭や南瓜を使った秋らしい料理や、おやつには紅白饅頭をご用意し、ささやかながらお祝いをさせていただきました。

今年、新型コロナウイルス感染対策として、密にならないよう行事内容を縮小して行いましたが、笑顔あふれる良い敬老会を開くことができました。

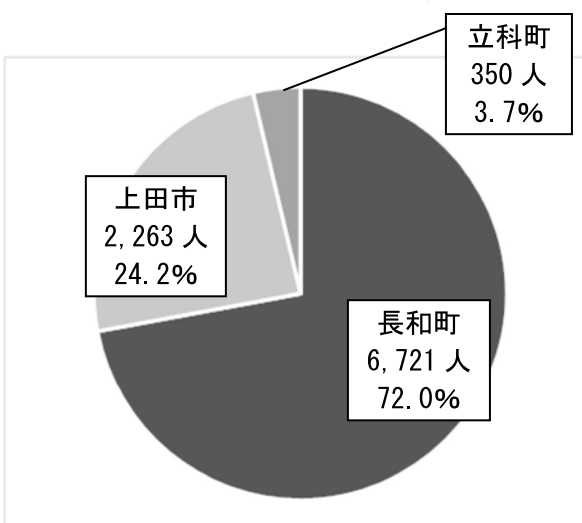
これからも心のこもったケアを大切に、ご利用者一人ひとりに満足していただけるよう職員一同努めてまいります。皆様のますますのご健勝と、ご長寿を心よりお祈りいたします。

(食事・行事委員 石黒 愛)

市町村別入所者の延べ人数と比率



市町村別通所利用者の延べ人数と比率



歳入総額	50,346万円
歳出総額	50,123万円
差引残額	223万円

□ 主な歳入内容

施設入所サービス収入	22,578万円
居宅サービス収入 (短期入所・通所リハビリ)	15,417万円
市町分担金	6,252万円

□ 主な歳出内容

職員給与費	33,269万円
診療・介護・給食等材料費	2,731万円
経費(消耗品費・光熱水費等)	6,669万円
保守管理等委託金	1,160万円
起債償還金	6,252万円

■ 入所・利用者の状況(延べ人数)

区分	利用実績	前年度との差
一般入所者数	19,258人	1,416人増
短期入所者数	5,134人	1,163人減
入所者数計	24,392人	253人増
入所率	95.2%	0.7%増
通所リハビリ利用者数	9,334人	626人減
通所リハビリ1日平均利用者数	30.1人	2.2人減
訪問リハビリ利用者数	148人	88人増

令和元年度 依田窪老人保健施設特別会計決算

依田窪医療福祉事務組合議会9月定例会が、9月24日に開かれ、令和元年度依田窪老人保健施設特別会計決算が審議され、認定されました。

令和元年度は、通所リハビリ利用者の減などにより歳入は対年度343万円余の

減収となりました。

歳出は、例年がない財務会計システムサーバーの更新費用の支出があったことなどにより、対前年度786万円余の支出増となりましたが、差引残額は223万円余の黒字決算となりました。

決算の概要、入所・利用者の状況は次のとおりです。

ほっと通信

老健いこいには、医師、看護師、介護員、理学・作業療法士、管理栄養士、支援相談員と多職種が勤務しています。このコーナーでは各職種からいろいろな情報を発信いたします。

いこいは「リハビリ」が充実した施設です

作業療法士 雨宮麻里絵

介護保険における介護老人保健施設（老健施設）の機能は、在宅支援・在宅復帰のための地域拠点となる施設、リハビリテーションを提供し、機能維持・回復の役割を担う施設と明示されています。

いこいでは、リハビリを充実し老健施設の機能に沿ったサービスの提供に取り組んでいます。今回は、いこいでのリハビリについて紹介します。

いこいでのリハビリは、リハビリ専門職（理学療法士や作業療法士）による個別リハビリと、多職種（看護師や介護員）による生活リハビリがあります。専門職によるリハビリでは、リラクゼーションや筋力トレーニング、歩行練習や生活に必要な動作練習を個別に集中的に行っていきます。一方、多職種による生活リハビリでは、トイレや着替え、食事や入浴、移動などの日常的な動作そのものをリハビリと捉え、生活場面で適切な介助や見守りを行い、生活動作の能力維持や向上を図るようにしています。

リハビリ専門職8人と多職種が、利用者一人ひとりの生活目標に向け自宅での生活を想定したリハビリを行い、機能維持・回復を目指し、元気になって自宅に帰れるようサポートしています。自宅の環境に合わせたリハビリのために、入所前の家屋調査や、その後の生活を支援するための退所後訪問も積極的に行っています。

長和町や上田市武石地域、立科町では唯一の老健施設が「いこい」となります。病気や怪我により在宅での生活が不安な方や加齢による身体の衰え、認知機能の低下を感じられた方、また、他の方との関わりを持ちたい方や、運動をして今の身体機能を保ちたい方など、まずはいこいへご相談ください。いこいは、これからも高齢者の在宅復帰・在宅生活支援に取り組んでいきます。



取り組み事例

① A様：90代 いこい通所リハビリセンター週2回利用

ご利用者の声『いこいに通うことで今の身体が維持できていると思う。リハビリでマッサージをしてもらったり目標を立てて運動をしています。毎週いこいに来ることが楽しみです。』



バスの乗り降り
を想定した段差
昇降練習

畑まで行くため
に2本杖を使用
した歩行練習



② B様：80代 いこい長期入所利用 定期的に自宅で生活している

ご利用者の声『いこいに泊まりながらリハビリをがんばっている。施設での生活は安心がある。いこいに来てから身の回りの事が自分でできるようになった。いこいを紹介してくれたことに感謝している。』

自宅トイレ内を
想定した伝い歩
き練習



自宅玄関を想定
し、右側手すりを
使用した段差昇
降練習

